

テストノートの作り方①：概要説明

「テスト後こそ大事!」：結果は“終わり”ではなく飛躍への“始まり”だ!

定期考査は「それまで学習したこと（基礎英語などの家庭学習を含む）が、どれだけ定着しているかを評価する」方法の一つです。テスト答案をじっくり見れば、自分が何ができるようになったのか、どんなことがまだ定着していないのか、今後どういう勉強をしてゆけばいいのか、など多くのことが見えてきます。

そこで、本校英語科ではテスト結果を自分で分析することで実力をさらにアップさせるために「テストノート」の作成を全員に課しています。実際、先輩達の多くが「テストノートを作ることによってわからなかったところがわかった」「テストノートで本当の力がついた」とその効果を述べています。

では、どのようにして作成したらいいのか、その概要を以下に記します。

Step 1 次のものをきちんと貼り付ける ※考査によっては無いものもあります。

①問題冊子（ホチキスでとめ、三方の縁を切る）、②放送台本、③模範解答、④解答用紙、⑤再実施解答用紙、⑥観点別達成度グラフ（レーダー・チャート）、⑦得点度数分布表を貼る。なお、⑥は得点記録、達成率計算、色塗りなどをして表やグラフを完成させる。

Step 2 テストをやり直す

家庭でもう一度問題に挑戦し、本当に理解していることを確認します。○をもらっていても、たまたま「あたり」だったり、本当はどうしてそれが正解か説明できないこともあります。学校でのやり直しに加え家庭での再挑戦で理解度を高めましょう。今回放送問題を録音したのも、その部分を家庭でやり直し、理解を確認してもらうためです。

Step 3 ミスを分析・説明する ※今回はNo. 61にやり方を詳しく解説してあります。

小問（個々の問い）ごとに区切って復習しましょう。

A 間違った問題の分析

自分はその時に何を考え、どのように解答したらまちがえたのかを思い出してみましょう。また、授業中の再実施やテストノート作成中に気づいた正解への道のりを解説してください。これによって、あなたは正解できなかった問題を身につけることができます。

B 正解だったが自信のなかった問題の説明

本当にわかっているかどうかは、言葉で人に説明できるかどうかでわかります。該当する問いについては、ノートに「なぜそれが正解なのか」という分析・説明を書いて理解度を高め、注意すべき点をしっかりおさえましょう。

色ペンを使ったりして、あとでノートを見たとき、自分が気をつけるべき点がわかりやすくなるにはどういうレイアウトにしたらいいか工夫しよう!

Step 4 コメントを書く

自分の取り組みを振り返るために、以下の4項目についてタイトルを付けて書きます。

- ① 普段の授業…集中度・積極性・練習のしかた・声の大きさ・ペア練習等
- ② 普段の家庭学習…毎日の復習・今までの復習・基礎英語・他の学習・積極性等
- ③ 今回のテスト勉強…内容・始める時期・週末の使い方・他教科とのバランス等
- ④ 今後の課題や目標…全体を振り返っての感想や今後の学習への抱負等
- ⑤ 保護者のコメント（今回限定!）…テスト結果を保護者に見せて感想を書いてもらう。